

令和4年度 都城市立富吉小学校 学校運営協議会評価 ①

信頼される学校

敏感な人権感覚を根底にしながら、児童の個性に応じた指導をとおして、確かな学力と豊かな人間性を身に付けさせ、ふるさと富吉を愛する児童を育成し、児童・保護者・地域に信頼される学校を創造する。

4段階評価 (4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する)

| | 重点目標 | 具体的目標 | 本年度の取組について | 内部評価 | | 学校運営協議会評価コメント | 評価 |
|----|--------------|---------------------------------------|---|------|-----|---|-----|
| | | | | 項目 | 全体 | | |
| 知育 | 「確かな学力」を育成する | (1) 教育課程の工夫等による授業時数の確保と学習内容の確実な定着を図る。 | 【学校の取組】 ○ 複式解消のため、教科担任制を行うことで、きめ細かな指導を行なった。 ○ パワーアップタイム、漢字指導の効果をあげた。 ○ 週末タブレットの持ち帰りを行い、個人にあった学びを進めている。 ○ 学級図書の実、図書室サポーターのイベント、読み聞かせ等により読書に対する興味は高まっている。読書の習慣化が課題である。 【学校運営協議会アンケート結果より】 ○ 低学年は元気のよい授業風景が見られた。先生方の指導も工夫がなされておりよかった。図工の時間のスケッチは外に出て描くのではなくてこれもよい方法だと感じた。(タブレット映像を見ながら描く。)もう少し時間がほしいと思った。 ○ 複式学級で教える内容が少し違うので、どんな様子か気になっていた。実際に見ると、先生がひとりで、子ども達は学年の内容が別々であつてもきちんと進めているので安心した。少人数のため、子ども達同士で話し合っているのも、その点も良い事だと思う。 ○ 複式学級となり、先生方の工夫ですばらしい授業を見せていただいた。 | 3.4 | 3.3 | ○ 複式学級初めてであつたが、先生方が工夫れ、すばらしい授業がなされている。 ○ 複式学級で異学年に教えたり、復習できることはよい。 ○ 子どもたちがタブレットを上手に操作していた。効果もあがっている。 ○ タブレット等の機器を有効活用し、わからない点を再度学習するなど学力向上につなげてほしい。 ○ 学校図書館も図書サポの工夫により活用されている。 ○ 読書は家庭内の習慣がポイントで重要と思う。 | 3.4 |
| | | (2) 家庭学習の内容の充実を図り、学習効果を高める。 | | 3.0 | | | |
| | | (3) 読書活動の習慣化(量と質のバランス)を図る。 | | 3.1 | | | |
| 徳育 | 「豊かな心」を育成する | (1) 差別やいじめを許さない雰囲気醸成、望ましい言動の称賛に努める。 | 【学校の取組】 ○ 昼休みや行事等、学年の枠を超えて協力して活動することができた。 ○ 定期的にアンケートや教育相談を行い、問題に対して早急に対応できた。 ○ 道徳の授業の充実に取り組み、参観日や通信を通して発信を行っている。ほめる、はげます機会も増やしている。 ○ 小中連携あいさつ運動を行なうことができた。日頃のあいさつを高めていく必要がある。 【保護者アンケート結果より】 ○ いつも子供の気持ちに寄り添ってくださり、授業も丁寧に見て下さるおかげで楽しく学び、楽しくすごしています。また、お友達との間に入ってください、細やかな対応をしてくださるので、親子共に大変助かっており、感謝しております。 | 3.5 | 3.4 | ○ 読み聞かせの際、送り、迎え、とても礼儀正しい。 ○ 朝、ひとりで登校、寂しそう。歩いている人数も少ない。豊かな人間性を身につけさせ、思いやりの心を育てるために、集団登校をし、時間を守ったり、遅い子を気遣ったりするのがよいと思う。 ○ あいさつに個人差があると感じた。大きな声で元気にあいさつしてくれる児童がいることはすばらしい。 ○ 大きな声でだれにでもあいさつできる子供になってもらいたい。 ○ 新聞、テレビ等で差別やいじめを見ることがあるので教育をお願いしたい。 ○ 遊びを含め、交流の中で相手の聞く力、自己表現する力を高めることでいじめの発生が軽減されると思う。 | 3.1 |
| | | (2) 教育相談の計画的な実施と問題行動への組織的な早期対応を行う。 | | 3.5 | | | |
| | | (3) 道徳教育を充実させ、思いやりの心を育てる。 | | 3.2 | | | |

令和4年度 都城市立富吉小学校 学校運営協議会評価 ②

信頼される学校

敏感な人権感覚を根底にしながら、児童の個性に応じた指導をとおして、確かな学力と豊かな人間性を身に付けさせ、ふるさと富吉を愛する児童を育成し、児童・保護者・地域に信頼される学校を創造する。

4段階評価 (4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する)

| | 重点目標 | 具体的目標 | 本年度の取組 | 内部評価 | | 学校運営協議会評価コメント | 評価 |
|-----------|---------------|--|--|------|-----|---|-----|
| | | | | 項目 | 全体 | | |
| 体育 | 「たくましい体」を育成する | (1) 新しい生活様式を基盤にした体育指導及び健康教育を実施する。 | 【学校の取組】 ○ 体育の授業の中でサーキットトレーニングや運動量の確保の工夫を行っている。昼休み等も元気に遊ぶ姿が多く見られた。 ○ 日常の給食指導や学校保健員会等を通じて、食の大切さの指導の充実を行ってきた。「早寝、早起き、朝ごはん」等、健康的な生活の習慣化を図っていききたい。 ○ 避難訓練等を通じて、災害に対する心構えや行動の仕方の充実を図ってきた。 | 3.4 | 3.2 | ○ 運動会、持久走大会、児童らが生き生きしていた。 ○ 持久走大会でペースがわからない子が多いと感じた。寒くなるが続けて欲しい。 ○ 食の好き嫌いがある子どもがいるように思う。食が体をつくることを学んでほしい。 ○ 試食会はコロナ感染のため中止になっているのか。 | 3.3 |
| | | (2) 「食」に関する指導充実と諸検査の結果を生かしたきめ細やかな対応を行う。 | | 2.9 | | | |
| | | (3) 安全教育の充実及び施設・設備の安全点検の徹底と素早い対応を行う。 | | 3.4 | | | |
| 家庭・地域との連携 | ふるさと教育を充実する | (1) 地域に関する学習をとおして、ふるさとを愛する心を育てる。 | 【学校の取組】 ○ あじさい公園、的野神社、山之口古墳等、地域を素材にした学習を行っている。 ○ 的野神社灯ろう作成、弥五郎どん祭りに児童が楽しんで参加でき、充実した時となった。 ○ 棒踊り、俵踊りの指導をはじめ、さつまいもの栽培等、協力していただき、充実した学習ができた。授業の中にふるさと学習を積極的に取り入れていくにあたって、地域の方の協力をさらに広げていきたい。 ○ 学校ホームページの充実がなされ、学校・学級通信等を通して、学校の様子を積極的に発信できた。 【学校運営協議会アンケートの結果より】 ○ 地域のことをもっとしっかり勉強して協力していただきたい。 ○ PTAの役員、地域の役員で、PTA・地区の連絡協議会を開催していたが、コロナの影響で開催されていない。意見交換の場として、来年度は取り組んでいただきたい。 ○ 新型コロナ感染対策のため、行事が少なくなったりして、3年目になり、学校との関係が希薄になりつつなる。弥五郎どん祭りが開催になったことで関係が深まるといいなと思う。 ○ 子供会の活動がもう少し活発になり、地域公民館との合同の活動があれば、よりよくなるように思う。 | 3.4 | 3.5 | ○ 学校の取組は素晴らしい。やはり発信が大事である。 ○ 校区にはいくつの子ども会が存在しているか。 ○ 3年ぶりの弥五郎どん祭り開催に参加でき、地域の歴史やふるさとについて考える機会になったのではないか。 ○ 感染対策のため、子供会行事が減っているように感じるが、公民館活動にもぜひ参加してほしい。 ○ コロナ対応大変だったと思う。これからは子どもは地域の宝であることを中心に、児童、保護者、地域に信頼される学校を創造してほしい。 ○ 学校と地域との運動会がここ2～3年、コロナのために地域が参加できていない。合同運動会を協議してほしい。 ○ 学校行事、地域行事も、学校、PTA、地域のみで考え、取り組んでいく必要があり、このことが地域の活性化につながり、地域の絆ができると思う。 | 3.0 |
| | | (2) 地域人材の活用を図り、教育効果を高める。 | | 3.4 | | | |
| | | (3) 地域の中の学校としての役割を果たし、積極的な情報発信を行う。 | | 3.6 | | | |